

青年交流部会 2021 年度第 2 回定例会 報告

- テーマ 「中島大地さんを囲むオンライン交流会」
- 日 時 2021 年 11 月 9 日（火）18 時 30 分～20 時 00 分
- 場 所 遠隔会議方式（Zoom）

「青年層における日中文化交流の現状と展望 ～小説、映画、アニメ、伝統文化、観光の概観を通して～」と題する論文で第 6 回宮本賞特別賞を受賞した中島大地さんが、児童書『境界のポラリス』で第 61 回講談社児童文学新人賞佳作に入選しました。10 月 20 日に出版されるのを記念し、中島大地さんを参加者が囲んで語り合う会を企画しました。

中島さんは埼玉県生まれ。一橋大学大学院言語社会研究科修士課程修了。在学中に半年間、上海・復旦大学に交換留学。受賞作はボランティアによる日本語教室「青葉自主夜間中学」を舞台とした小説です。中国生まれ日本育ちの主人公が日本語教室で日本語を教える中、中国、ベトナムなど多くの国の子たちと仲良くなり、自分の道を模索する物語です。いま日本には多様な人たちが暮らしており、各人のルーツやあり方を尊重した上で、ともに社会をつくっていくにはどうしたらいいのか、という問題意識が貫かれています。

<第 1 部> 中島大地さんからのお話

第 1 部では中島さんから著書出版の経緯や中国との繋がりなどについてパワーポイントを用いながらお話をお聞きしました。コロナ禍が始まった頃にこれまでの経験を踏まえ小説を書こうと思ったことがきっかけで『境界のポラリス』は誕生したそうです。

また、人民中国雑誌社のインターンシップとして「パンダ杯作文コンクール」に関わったご縁で、「両国の平和的発展にとって、人々の『Face to face』の交流とそれにもなう相互理解が非常に大切」というメッセージをこめた手紙を習近平国家主席に送ったところ、習主席来日のタイミングにあわせてお返事が届いた、というお話を伺いました。

<第 2 部> 中島大地さんを囲むオンライン座談会

第 2 部では中島さんを囲み、質疑応答を通し、楽しい座談会を行いました。

参加者からは、中島さんに対し留学中のお話や、中国語の勉強法、また将来につながる就活のことなどたくさんの質問が出ました。中島さんも一つひとつの質問に丁寧に答えてくださり、和気藹々と座談会を行うことができました。

当日はとくに各大学から多くの学生が参加し、海外からのアクセスもありました。参加者の出身は日本（29名）、中国（9名）、韓国（1名）でした。温かみに満ちた中島さんの語り口がとても好評で、若い方々からの質問が最後まで続き、とても盛況な会となりました。

※参加者からのアンケート結果

第2回定例会終了後に実施し、11名の方よりご回答を頂戴いたしました。

ご協力をくださり、誠にありがとうございました。

「中島大地さんのお話をじっくり聞くことができ、楽しいひとときだった。ゆっくりと質問する時間もあり、オンラインでの開催だったが、リアルに交流しているように感じられた」、「中島さんのお話にあたたかみを感じた」などの回答を頂きました。お互いの交流ができたとの声が寄せられ、準備チームとして何よりうれしく思いました。

青年交流部会では、座談会のほかにも、レター交流、研究報告会、お悩み相談会などのイベントも行ってきました。皆さまのご参加、ご参画を心待ちにしております！

日本日中関係学会 青年交流部会

- ①宮本賞受賞者を囲む会&レター交流
- ②各界名士・会員有志による研究報告会
- ③学生・青年社会人「何でも相談会」
- ④WECHATグループによる意見交換